

# 感染対策の取り組み

群馬県立心臓血管センターでは、感染対策室を設置し、以下のような感染対策を実施しています。

## 病院内感染対策に関する基本的な考え方

病院内感染の防止に留意し、感染症発生の際には拡大防止のためその原因の速やかな特定、制圧、終息を図ることを目的とする。病院内感染対策は、医療の安全対策上および患者サービスの質を保つためにも必要であり、全ての職員に対して組織的な対応と教育を行い、指針に則った医療が提供できるようにする。

(群馬県立心臓血管センター 感染対策指針より)

## 感染対策委員会 (ICC : Infection Control Committee) の開催

病院長を中心に各部門の責任者が参加する会議を毎月行っています。

## 感染対策チーム (ICT・AST) による感染対策に関する活動

感染対策を推進するチームが、毎週ラウンド(巡視)を行っています。

様々な職種によるチームで、組織横断的な活動を行っています。

### ● 感染制御チーム (ICT : Infection Control Team)

感染防止対策を推進し、病原微生物の感染や伝播の危険性を減らすことを目的として、以下の業務を行っています。

1週間に1回程度、定期的に病院内をラウンド(巡回)し、院内感染事例の把握を行うとともに、病院内感染防止対策の実施状況の把握・指導を行う、感染対策マニュアルの作成・改訂、各種サーベイランス(監視)の実施、JANIS(院内感染対策サーベイランス:厚生労働省)への報告、全職員対象の感染防止対策に関する研修会の開催、他施設からの相談対応など。

### ● 抗菌薬適正使用支援チーム (AST : Antimicrobial Stewardship Team)

感染症の診療にあたり、抗菌薬の適正使用を支援することを目的として、以下の業務を行っています。

感染症治療の早期モニタリングとフィードバック、微生物検査・臨床検査の利用の適正化、抗菌薬適正使用に係る評価、抗菌薬適正使用の教育・啓発等を行うことによる抗菌薬の適正な使用の推進、抗菌薬マニュアルの作成、改訂、抗菌薬適正使用支援に関する研修会の開催、他施設からの相談対応など。

## 感染対策指針に沿って、感染対策マニュアルを遵守しています。

標準予防策・感染経路別予防策の実施

手洗い、手指消毒(擦式アルコール手指消毒薬の設置)、咳エチケットの実施

手袋、マスク、エプロン等の適切な着脱、

薬剤耐性菌、インフルエンザ、ノロウイルス対策 等

## 焦点を絞ったサーベイランス(監視)を行っています。

中心静脈カテーテル関連血流感染、心臓血管外科の手術部位感染、尿道留置カテーテル関連尿路感染、擦式アルコール手指消毒薬消費量、抗菌薬(抗生物質)の使用状況、薬剤耐性菌の検出状況、針刺しなど血液・体液曝露 等のサーベイランスを実施しています。

## 職員に対して、感染対策の教育を行っています。

感染防止対策に関すること、抗菌薬適正使用支援に関することについて、それぞれ年2回以上の研修会を開催しています。

## 県内の病院と連携して、感染対策を推進しています。

連携している施設と年4回以上の感染対策に関するカンファレンス(会議)を開催しています。年1回以上、お互いの施設に赴いて感染対策の評価をしています。連携施設からの相談に対応しています。

